

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和 4 年 3 月 日
名 称	令和 3 年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議 (第 5 回)		
日 時	令和 4 年 3 月 2 4 日 (木) 1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 4 0 分		
場 所	社会教育総合センター 武道館		
出席者	委員 1 3 名 鈴木、富永、辻、大西、多田、佐川、稲毛、富田、道言、仲島 北向、鶴谷、濱口 事務局 9 名 教育長、教育振興課長、社会教育班主幹、北川主査、佐藤根主任、 島田主任、管野主事、長谷山主事、永井主事		
内 容	<p>会議の内容要旨</p> <p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係事業 (12~3 月) 社会教育施設整備の実施報告 ・令和 4 年度教育行政執行方針について ・令和 4 年度教育委員会予算の概要について ・会議等出席報告 <p>2 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度社会教育事業について ・社会教育団体への補助について ・上富良野町文化財保護委員の推薦について ・令和 3 年度社会教育事業の検証・評価 (各部会) について <p>3 その他</p> <p>稲毛委員長：報告事項について事務局より説明を求める。 事務局：3, 4 頁の社会教育関係事業実績及び社会教育施設整備について報告。 北向委員：町立病院建設で子どもセンター移設のためと思うが、小会議室はどの部屋か。ラウンジの改修はどういうものか。 事務局：小会議室は 1 階教育長室隣のピアノがある部屋、またラウンジは遊具など置くため仕切りをつけ施錠できるように改修したもの。 教育振興課長：令和 4 年度 教育行政執行方針、教育委員会予算の概要について、資料 1、2 により説明 社会教育については青少年国内交流事業が令和 3 年度中止のため、令和 4 年度派遣対象を 4 年生から 6 年生を中学 1 年生まで対象とする。青少年海外派遣育</p>		

内 容

成事業は4名のところ8名派遣する。小中接続事業「かみふっ子フレンドキャンプ」は小6全員を対象として実施。スキー場リフト使用料を町内高校生以下無料化を図る。郷土館運営は新たに町指定文化財として後藤純男氏絵画371点と郷土館、開拓記念館を文化庁に届出し保存継承していく。社会教育総合センターアリーナ天井耐震化は令和4年度予定したが、コロナ禍による資材調達困難等のため次年度以降実施を目指す。予算について、パークゴルフ場指定管理で利用数が開業当時4万から現在は1.8万と減少のため1,498千円増額となっている。

北向委員：日の出公園駐車場工事は終わったのか。教育委員会の設備は関与ないか。

教育振興課長：日の出公園駐車場は教育行政財産ではないが工事は終了している。教育委員会設備はない。

(ほかに意見無し)

稲毛委員長：会議等出席報告について、令和3年度上川管内社会教育委員連絡協議会第2回理事会に本日3月24日出席した。内容は令和3年度事業、決算報告と令和4年度事業予定、予算を審議した。コロナ関係で上川、全道の研修は延期となり、決算は事業未実施が多いため繰り越し額が100万を超えていることから、4年度に限り負担金を徴収しないことを総会に提案する。令和5年度は輪番で上富良野町で社会教育委員公民館運営審議会委員合同研修会を実施予定となっている。

(各委員特に意見無し)

稲毛委員長：協議事項について事務局より説明を求める。

事務局：令和4年度社会教育事業について、資料3に基づき説明。

(各委員特に意見無し)

事務局：令和4年度社会教育団体への補助金について、5頁に基づき説明。

前年同額であるが、いしずえ大学は令和4年度開校50周年記念事業のため200千円増額している。

鈴木委員：社会教育団体の補助金は全て執行されない場合は町に返金されるのか。

事務局：執行残は返金できる。

鈴木委員：今年度返金があれば実情を知りたい。

事務局：父母と先生の会連合会が事業縮小し、繰越金と会費で賄えたということで全額返金されている。2年度もコロナ禍で事業未実施により女性連絡協議会と青少年団体協議会から一部返還されている。

事務局：コロナ禍で活動が出来ず令和4年度も見込めない中、補助金額は変わらず機械的な出し方は実情を反映してない数字のように見える。ただ返金システムがあるというが、精査したり節約したものを次年度減額されると活動の幅が狭くなる。返金があっても次年度補助額を安易に減額するものでないと思う。そんな中、適切な補助金使用となるよう各団体の会計を精査して関わっていく必要がある。

事務局：ご意見をもとに補助金事務の精査管理運営に努めていく。

内 容

教育長：補助金は予算を取っているが、補助額申請は団体が予算書や事業計画により必要額を申請する。未執行の場合は団体の判断で年度内で精算し返還したり、繰越す場合は前年度の繰越額により補助額を調整する。対象経費に対し補助を行うので、団体ごとに規則に照らし合わせ事務を行っている。

(ほかに意見無し)

稲毛委員長：上富良野町文化財保護委員の推薦について、引き続き北向委員、大西委員にお願いしたいがよろしいか。

北向委員、大西委員：了承

(各委員特に意見無し)

事務局：第9次社会教育中期計画令和3年度社会教育事業の検証・評価を各部会に分かれ19時まで実施、その後全体で報告をお願いする。

(18時30分～19時まで3部会に分かれ協議)

稲毛委員長：協議事項について部会長より報告を求める。

第1部会長：事業はすべて継続とした。子ども会餅つき交流会は感染対策を取り主催者側で餅つきを見せ、業者がついた餅をアリーナでグループ分けし距離を取りながらお菓子とともに餅まきを行った。申し込みが多く午前午後の2回実施した。ブックスタートは、乳児検診が分散実施で一堂に会することがなく読み聞かせは中止、資料配布のみだったが、保護者の交流をする場がなく、子ども会事業のように実施できるよう検討願いたい。評価シートは1家庭教育力の向上①②ともにC、2地域の教育力向上①②ともにC、理由としてコロナ禍で事業ができていないため前年度以上の評価とならなかった。次年度に期待する。6社会教育の基盤整備(1)①はB、②はB。(2)社会教育推進のための基盤整備①C、意見としてコロナ禍で職員研修受講なしのためCだが、次年度以降参加があれば評価したい。②はB。

第2部会長：事業はすべて継続。女性連絡協議会総会出席40名の報告。いしづえ大学公開講座は11月26日76名参加、感染対策とりながら実施した。青少年文化芸術大会派遣奨励事業報奨金は前回以降4名追加、吹奏楽コンクール参加であった。かみふらの10大ニュースは学校関係に投票箱を置く、またグーグルフォーム活用で投票数が伸びている。謎解き図書館の実施58名参加。数字だけではなく運営に対する努力等を加味し、評価シートは3生涯学習活動の推進はいずれもB。5文化の振興(1)文化・芸術活動の推進はB。(2)郷土・文化財の活用は昨年同様C、しかし②文化財の保存は町の指定文化財373点指定を今後広く公開また保存する過渡期としてB。6社会教育施設の基盤整備はすべてB。特に①社会教育指導員等の人材育成はリモートを活用して研修が行われたことが報告されている。

第3部会長：事業はほとんど継続とした。利用人数は減少しているが、学校開放などでたくさんの方が利用できているということで継続となった。女性スポーツ協議会は令和2年度で廃止となったので継続とはならない。またゲートボール場は今年度利用なし、3月31日をもってゲートボール連盟が解散となっており、場所について今後の利用や維持管理について令和4年度検討が必要。評価シートについて、4スポーツの振興は、コロナ前に比べ十分とは言えないがコ

内 容	<p>コロナ禍であるので両方 B。6 社会教育の基盤整備(1)①②、(2)①②は現状でやれることをやっているの B。</p> <p>稲毛委員長：ただ今の評価について質疑はあるか。なければ全体評価に入る。</p> <p>1 番から 5 番まで、部会の評価を全体評価としたいがどうか。</p> <p>(各委員特に意見無し)</p> <p>稲毛委員長：意見がなければ部会評価を全体評価とする。6 社会教育の基盤整備(1)①は 3 部会とも B のため B とする。②はすべて B のため B とする。(2)①これは第 1 部会のみ C ほかは B だが B でよろしいか。</p> <p>北向委員：人材育成の受講なしのため成果が上がっているとは言えないのではないか。</p> <p>鈴木委員：1 部会でそのように評価したが、先の報告で 2 部会でオンライン研修の報告があったことを聞いたが、1 部会ではその報告がなかったので、研修の実績があったのであれば 1 部会でも B で納得するので、事象を報告願う。</p> <p>事務局：2 部会のオンライン研修の件は、図書館読書推進委員に対する研修を毎年、講師を招き実施していたものを、今年度はオンラインで道立図書館職員を講師に実施した報告をしたところ、オンラインでも研修会を実施できているということで、2 部会では B 評価をいただいた。</p> <p>北向委員：資料 4 に記載はなかったが、オンラインでも研修会が実施されていたので B でよい。</p> <p>稲毛委員長：(2)①人材育成は B とする。②もすべて B のため B とする。これで評価を終えたが、何か意見はあるか。また全体を通して意見、質問等はあるか。</p> <p>大西委員：確かにオンラインで研修はできているが、以前の研修では現地に行きみなさんの話を聞いたり幌加内高校見学できたことを考えると、この 1 年の活動は苦しかったと思うが、こういう事態なので可能な限りのことをやるしかない。ジオパーク認定がされたが、関係者からどういう評価で認定になったか等できることを社会教育でも研修を行えると良い。</p> <p>稲毛委員長：来年度の計画で行えるよう申し送りしたい。</p> <p>大西委員：今年度は子ども達が一堂に会することが難しかったが、宮沢賢治の「鹿踊りのはじまり」発表会を行うのでご覧いただきたい。</p> <p>稲毛委員長：その他事務局から。</p> <p>事務局：次回会議は 5 月中旬を予定しており、改めてご案内する。</p> <p>稲毛委員長：ほかに意見がなければ終了する。</p> <p>全体で質疑等なく終了</p> <p>退任 辻委員、</p> <p>退職 3 名 服部教育長、林課長、北川主査、</p> <p>異動 吉澤主幹、管野主事 挨拶</p>
-----	--